



生小だより

生駒市立生駒小学校 学校だより 令和8年度 7号

令和8年10月



ホームページ



X



いこまる

■第2回学校運営協議会 9/30(水)

令和8年度の2回目の学校運営協議会を開催させていただきました。今回は、来年度の学校予算・全国学力・学習状況調査の結果・学校評価(中間評価)についての報告とこれらの議題に関する審議を行っていただきました。

●予算:事務担当者と教頭より学校の校舎・設備等の現状について詳細の説明を行いました。校舎の老朽化への対応、児童の増加、特別支援学級数の増加への対応、防犯対策について審議していただき、学校運営協議会からの「要望書」を作成していただきました。

●学力・学習状況調査:主幹教諭より、調査内容と結果の概要について説明しました。本校児童の学力や学習・生活状況についての詳細は次頁をご覧ください。

●学校評価(中間評価):7月に本校教職員を対象にした学校評価アンケートについて、校長より説明しました。今回は委員の方から、人権教育に関するご質問などをいただきました。中間評価の詳細は本校公式ホームページ「教育計画」コーナーで公開しておりますのでご覧ください。

*学校評価 URL

<https://www.city.ikoma.lg.jp/0000023039.html>

会議後の授業参観では、子どもたちの学習の様子を見ていただきました。特に今回は、来年度児童の大幅増が見込まれる特別支援学級の教室の現状を詳しく見ていただきました。



■5年生が野外活動に行きました！ 10/5,6

10月5日・6日の2日間で、5年生の子どもたちが、曽爾村の青少年自然の家へ野外活動に行きました。初日はあいにくの雨模様でしたが、雨が止んだ合間に曽爾高原のおかめ池の周囲を散策することができました。子どもたちは曽爾高原の美しい自然を満喫しました。また、青少年自然の家の広い館内を使用して館内オリエンテーリングや端材を利用した作品制作に挑戦したり、夜のキャンドルファイヤーで楽しく過ごしたりしました。2日目の野外炊飯は、ボランティアの皆様にもご支援いただいて家庭科の授業で一通りカレーライス作りを練習していたのでとてもスムーズで、おいしい昼食を作ることができました。

2日間の活動で子どもたちは、自然の素晴らしさ、予定を確認しながらみんなで活動することや協力することの大切さを学ぶとともに、みんなで「楽しむ」ことの良さを経験することができたと思います。



■運動会の練習・予行

10月17日(土)の運動会に向けて、子どもたちは競技や開閉会式の練習をがんばっています。また、高学年の子どもたちが中心となって、運動会の準備をがんばって進めているところです。

本年度から白組が復活し、赤・白・青・黄の4組対抗の運動会になります。また、各学年での競技の中に「表現」のコーナーを設け、運動会を見に来てくださる保護者の皆様や地域の皆様楽しんでいただけるよう、競技内容を工夫しました。

10/9には予行を行い、各学年の競技を短縮版で一通り実施し、準備物の配置や競技の進め方の確認を済ませました。あとは本番を待つばかり。心配なのは天気だけです。

■“届けよう、服のチカラ”プロジェクト(再度のお知らせ)

10/17の運動会と翌週に学校で服の回収を行います。また10/24~11/6の期間で校区内の協力施設・店舗・園での回収も行います。詳細は「生小だより6号」をご覧ください。

■11月の学校行事予定 (変更する場合があります)

日	曜日	行事等の予定	備考
1	日		
2	月	全校朝会 カウンセリング(市)	
3	火	文化の日 スポーツ防災イベント 生駒幼稚園50周年記念式典(本校開催)	
4	水	文化鑑賞会(育友会共催)	
5	木	4年交通安全教室	
6	金	4年社会見学	
7	土		
8	日		
9	月	1・2年防犯教室	
10	火		
11	水	1年昔遊び	Ⓓ14:35
12	木		
13	金	委員会 カウンセリング(県)	5・6年15:40
14	土	わくわくキッズ	Ⓓ11:50
15	日		
16	月	振替休日	
17	火	1年あきあきランド	
18	水	6年修学旅行(広島宮島方面)	
19	木	6年修学旅行 1年あきあきランド	
20	金	6年家庭学習	
21	土		
22	日		
23	月	勤労感謝の日	
24	火		
25	水	6年尺八/箏講座	
26	木	就学時健康診断(短縮校時)	Ⓓ12:45
27	金	4年点字体験 クラブ	5・6年15:40
28	土		
29	日		
30	月		

■全国学力・学習状況調査の結果より

本年4月に6年生を対象として全国学力・学習状況調査を実施し、その結果が返ってきました。個人別の調査結果を各児童に伝えるときにも、全体的な評価の結果に基づいて、本校児童の学力等の状況の把握と、今後の課題について検討する材料としています。令和8年度の調査結果の分析は以下の通りです。

1. 概要

本年度は「国語科」「算数科」の2教科で調査を実施しました。正答率は、国語・算数ともに県平均・全国平均を国語で約6ポイント、算数で9ポイント程度上回る結果でした。今回の調査を詳細に分析しますと、いずれの教科においても、長文の資料を最後まで集中して読む、複数の資料を比較して解答を導き出す点で課題が見られました。

2. 各教科

(1)国語

①正答率より

国語科では、ほぼどの問題においても全国・県平均を上回っています。本校児童の正答率が低かった項目が知識技能の分野の「情報の扱いに関する事項」と思考判断表現の分野の「書くこと」でした。いずれの項目も、全国・県ともに平均正答率が低い項目で、「情報」が58%、「書く」が52%になっています。全国・県平均を上回っているとはいえ、5割弱の児童が誤答・無解答であったので、放置するわけにはいきません。また、唯一全国・県平均を下回ったのが、思考判断表現の分野の「読むこと」で、全国・県平均が64～65%であったのに対して本校は約63%でした。以上より、本校ではこれらの分野での児童の学力の向上を図る必要があります。

②出題された問題より

1の①は動画を作成するための【構成メモ】の内容を読み取り理解する問題です。この問題は、解説資料では「指導要領の内容」の「話すこと・聞くこと」に分類されていますが、明らかに資料から情報を読み取る力が問われる問題でした。読み取るという点では2の④は非常に正答率が低い問題です(全国・県・本校いずれも3割台)。本文と【集めた情報】というメモから必要な「情報」を探し出し、作文の約束(「」の使い方)にも留意しつつ、自分で考えをまとめて本文の続きを書くというように、ちょっと複雑なものです。「書く」力だけでなく「読む」力も求められる、良い問題であると思います。

さて、作文はもう一問3の③(2)でも出題されています。こちらの正答率は全国・県が7割以上、本校が68%でした。ここで注目されるのが、無解答率の高さで、本校では19%弱、2割近い児童が回答をあきらめた問題です。内容としては、本文を読み、本文から言葉や文を引用し、自分の経験と結びつけながら考えたことを記述するという、比較的わかりやすい内容です。ただし、ここで問題になるのが本文の長さで、400字詰め原稿用紙3枚分以上あります。テストの問題文としてはかなり多い分量です。最後の問題で時間が足りなかった、長い文章を読むのに時間がかかり、選択問題を解答していて時間がなかったという児童が多いように思われます。なぜなら、本校の児童は、非常に難しかった2の④の無解答率がわずかに3.7%であり、難しいからといって解答をあきらめる児童が少ないからです。実は、この3の③(2)の問題は「読むこと」に分類されています。

(2)算数

①正答率より

すべての問題において全国平均・県平均を上回っていました。中には、正答率が8割、9割を超えるものもありました。正答率が低い項目としては「変化と関係」、いわゆる「割合」の48%(全国・県41%)と「データの活用」の57%(全国・県49%)の項目でした。

②出題された問題より

正答率が低い問題の例をあげますと、2(3)ペンギンがいる2つの広場の混み具合を問う問題です。本校で41%(全国・県は3割程度)でした。資料として、表と式(商)が示されています。問題は示された式が1㎡あたりのペンギンの数を求めているのか、ペンギン1羽あたりの

面積を求めているのかを判断し、商の0.5と0.4が何を表すのかを考えるものになっています。そして、資料の式が1㎡あたりのペンギンの数を求めていることに気づき、商が大きいAの0.5が混んでいると考えなければいけません。割合が理解できるという算数の力とともに、何が求められているのかを図や文から理解する「読む力」も求められています。

広場にいるペンギンの数と広場の面積		
	ペンギンの数(羽)	面積(㎡)
A	10	20
B	12	30

A $10 \div 20 = 0.5$
B $12 \div 30 = 0.4$

逆に正答率が高かった問題もあります。アンケート表の不備を見つけ理由を文で書く問題です。表1で各学級の人数を見ながら、表2のアンケート結果を見て、全員のアンケートを集められていない学級を見つけ、どの部分を比較するとそれが分かるのかを記述する問題です。本校児童の正答率は65%(全国・県は55%前後)でした。他の問題でもそうですが、本校児童は文を書くことにに対して抵抗感が少ないように思います。

表1 1年生の各学級の人数(人)				
学級	1組	2組	3組	合計
人数	29	30	28	87

表2 1年生が選んだ遊び(人)				
遊び	1組	2組	3組	合計
ボール遊び	9	14	8	31
おにごっこ	8	7	10	25
普通遊び	12	6	10	28
合計	29	27	28	84

3. 学習状況

「朝食を毎日食べている」「毎日同じくらいの時刻に寝ている・起きている」等、児童の生活に関する質問において、「している」「どちらかといえばしている」を合わせると、どの項目においても8割を超えており、比較的良好な生活習慣が確立できている児童が多いことが分かります。また、「自分によいところがある」「先生は良いところを認めてくれている」「学校に行くのが楽しい」「友だち関係に満足している」「生活の中で幸せな気持ちになる」「いじめの否定」等の項目で肯定的な回答が9割以上あり、ご家庭での生活や学校生活が充実している児童の割合が高いことが分かりました。「地域や社会をよりよくするために何かしてみたい」という項目も肯定的な意見が87%以上あります。普段よりESD等で地域や世の中に関わろうとする学習活動を行ってきた成果であると考えられます。

学習への取組について、パソコン等のICT機器の活用面では情報収集・活用・発表面で全国・県と比較して高い水準にあります。しかし、「読書」については大きな課題があります。1日での読書を問う質問、図書室等の利用を問う質問では全く読まない・全く利用しないが4割程度であり、全国・県平均を大きく上回っています。「読書活動」の充実が大きな課題ということが明らかになりました。言うまでもなく「読書」は読解力の原点でもあります。

4. 今後の取組

本校の児童は学習に向かう力を持っている児童が多く、これまでの取組の成果から、ICT活用の力が全体的に身についていると言えます。また、普段の授業中の様子を見ていると、学習したことへの感想や考えを書くことに対する抵抗感も少ないように思います。その一方で、読書量の少ない児童が多く、長い文章を読んでその内容を正確にとらえ、複数のテキスト資料や図表を正確に読み取って内容を理解する力の面での課題が、今回の調査で明らかになりました。

本校の児童の持っている力をさらに伸ばし、課題を解決するために、本年度から参加している「読解力向上NARAプラン」で児童の汎用的基礎読解力の向上を図るとともに、ESD(持続可能な開発のための教育)を進め、自分たちが暮らしている「いこまのまち」を愛する心を育みたいと考えます。

■資料(出題された問題、分析等はこちらをご覧ください)■

「令和8年度全国学力・学習状況調査の調査問題・正答例・解説資料について」(国立教育政策研究所)
<https://www.nier.go.jp/26chousa/26chousa.html>